

『これからの時代、

求められるのは、“進化”だ』

企業市民 大野 健弘



私が大野です！

1992年日東工業株式会社入社(53歳)

広島/高松/東京で営業責任者、タイのバンコクでグループ会社社長、本社品質保証室を経て、現在は広報室長(5年目)

出身 愛知県

趣味 ゴルフ(社交としても利用)

一言 このような貴重な機会を与えて頂き感謝申し上げます。ご参加の皆様が良い参考となれば幸いです。

長久手市への思い

日東工業は、B to B 製造販売メーカーのため、広告看板を出すだけでは地域の方々に社名を覚えてもらえません。消費者と繋がりがたとえ少なくても、地元企業としてもっと身近に感じてもらいたい！という思いで長久手市と関わっています。ファンになってもらうことで製品の指名を頂くことや仕事に就いて頂いたり、さらには応援(例えば株主になって頂く等)して頂けたら広報室としても企業市民としても、とっても嬉しいです！

長久手市と繋がるきっかけ

「広報活動を通じたお付き合い程度の繋がりは市とありますが、なんだか希薄。本社が存在するのに、こんな関係ではもったいない！」と感じたのがきっかけです。民間企業の考えや知恵を行政の中でも相互に取り入れお互いが進化し続けていけば、両者にとってメリットとなります。営業経験を活かしてコミュニケーションを取り、顔の見える繋がりを築くべく仕事ではなく「個人」としてまちのイベントや委員会に赴き、人とのつながりを大切に活動しています。

実践塾講師 魅力Point!

まちの発展ってよく聞くけど、何だろう！？商業施設や交通機関の利便性を指すのであれば、既にハード面はクリアしています。今求められるのは、まちや人の『進化』ではないでしょうか。人、建物、空気、風景！まちにあるもの全てが財産です。小さな気づきを共有して、面白いと思ったことは取りあえずやってみる。そんな循環を続けていくと結果的にまちのブランディングや差別化につながります。まちを観察しアンテナを常に張ることが進化の秘訣！フィールドワークを通して、“新しい気づき”を1つでも持ち帰ってください！